

# 2015年1月のガス料金は

調整単価

$$\boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left( \boxed{\text{従量料金単価}} \right) \boxed{+2 \text{ 円/m}^3}$$

標準料金

原料費調整にかかわる料金

になります。

なお、今月の調整単価は前月に対して

$$\boxed{-7 \text{ 円/m}^3}$$

となります。

	①プロパンCP ドル/トン	②為替レート	③原料価格 (①×②) 円/トン
2015年1月	550	119.78	65,879

## 【1月分の調整額の出し方】

$$\left( \boxed{\text{③原料価格}} \right) - \left( \boxed{\text{④基準原料価格}} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \boxed{\text{調整単価}}$$

(円/トン) - (2009年10月～2012年3月の原料価格の平均値) (64,628円/トン)

(1 m<sup>3</sup>あたりの調整額) (円/m<sup>3</sup> 税抜)

トンをkgに直します。

Kgからm<sup>3</sup>に換算するための産気率

$$\left( \boxed{65,879\text{円/トン}} \right) - \left( \boxed{64,628\text{円/トン}} \right) \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \boxed{+2 \text{ 円/m}^3}$$

(小数点以下切り捨て)

## 【ガス料金の計算式】

$$\boxed{\text{ガス料金ご請求額}} = \boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left( \boxed{\text{従量料金単価}} \right) \pm \boxed{\text{調整単価}}$$

従来の標準料金

原料費調整にかかわる料金